

1 市の概要（H30年度）

人口	48,132 人
保護率	0.87 %



2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当たり(件)	一月当たり	17.7
プラン作成件数人口10万人当たり(件)	一月当たり	7.0
就労支援対象者数人口10万人当たり(件)	一月当たり	2.2
就労・増収率(%)		76.9

4 事業実績（H30年度）

利用者	就職者	福祉サービス等へのつなぎ	その他
10人（生活困窮者6人、被保護者4人）	1人（被保護者1人）	4人（生活困窮者2人、うち1名就労訓練事業利用、被保護者2人）	5人（生活困窮者4名、うち再利用者1名、被保護者1名）

3 実施方法について

実施方法	委託（被保護と一体的実施）（随意契約 単年契約）
事業費	9,000千円（困窮：6,000千円、被保護：3,000千円）
理由（委託）	・事業利用が想定される者には、障害が疑われるケースが多いと考えられることから、障害のある方に対する就労支援の実績やノウハウを有する法人に委託することが効果的と考えられる。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者（他事業と兼務）、就労準備支援事業担当者（専任、教員OB）、特別支援教育士SVの計3名体制。 ・通所型として施設外活動も実施。生育歴の把握や家族との面談を重視。担当者による自宅訪問や医療受診時の同行等、アウトリーチ等による個別に応じた支援を積極的に実施。 ・居場所機能を有する「虹カフェ」を併設し平日は毎日開設。事業終了者にも開放し継続的に来ることができる場所を設置。 ・起床、食事、入浴、就寝等の状況を把握し、生活リズムの確立を図るほか、調理実習、宿泊体験、文化・スポーツ活動、作業体験等を通し、自己理解を深めたり、他者との信頼関係を築いたりできる機会を提供。目標となる人と出会うこと、収入を得ることから、自立意識を高め就労意欲を促進。
その他特記事項	・障害福祉サービスとしての就労移行支援事業、就労継続支援B型事業を実施しており、関連事業所および地域の企業や農園等の活動とのつながりから、作業体験や実習、働く場を適宜確保していることが強みである。

5 事業実施のポイント ～障害者支援との共通点～

Point

受託法人の障害福祉サービス事業を活用し事業所内の作業体験が可能であるほか、障害者の社会参加に向けた就労や地域活動を行う障がい者支援のネットワークを、生活困窮者の自立に向けた支援に活用。

【社会的居場所 ～虹カフェ～】

事業利用の有無に関わらず参加可能、伴走型支援の拠点として機能



6 取り組んで良かったこと

- ・障害が疑われるケースに対し、受託法人の人材や資源を活用できることから、円滑に障害福祉サービス等につなぐことが可能である。
- ・利用者が事業終了後も立ち寄れる場を作り関わり続けられている。